

事項	きくのワタアブラムシおよびアザミウマ類に対する紫外線除去フィルムと防虫ネットによる侵入抑制効果
ねらい	アブラムシ類やアザミウマ類は、きくの新芽や蕾に入り込んで加害することから薬剤がかかりにくく、また、種によっては薬剤抵抗性の発達等により、薬剤散布のみでは防除が困難になっている。そこで、薬剤によらない物理的防除法である紫外線除去フィルムおよび防虫ネットによるアブラムシ類およびアザミウマ類に対する侵入抑制効果を明らかにしたので参考に供する。
指導内容	<p>1 ワタアブラムシに対する効果</p> <p>(1) 被覆ビニールに紫外線除去フィルムを使用すると、ワタアブラムシのハウス内への侵入は少なくなり、きくへの寄生を抑制できる。</p> <p>(2) 防虫ネットの設置により、ワタアブラムシのきくでの増加開始を無設置に比べ2週間程遅らせることができる。</p> <p>2 アザミウマ類に対する効果</p> <p>被覆ビニールに紫外線除去フィルムを使用し防虫ネットを併用すると、アザミウマ類成虫のハウス内への侵入が少なくなり、成幼虫のきくへの寄生を抑制できる。</p> <p>3 きく生育への影響</p> <p>紫外線除去フィルムの使用は、きくの生育を促進する。また、きくの花色には影響しない。</p>
期待される効果	<p>1 薬剤抵抗性の発達したアザミウマ類およびワタアブラムシに対し、防除を効果的に行うことができる。</p> <p>2 化学農薬低減の一助となり、防除の省力化が図ることができる。</p>
利用上の注意事項	<p>1 すでに発生している害虫には効果がないことから、これら害虫の寄生した苗は持ち込まない。また、発生状況に応じて、薬剤散布等の他の防除手段を併用する。</p> <p>2 紫外線除去フィルム被覆では、一般フィルム被覆よりきくの生育が促進されるため、草勢に応じた栽培管理に努める。</p>
担当	青森県農林総合研究センターフラワーセンター21あおもり 生産技術部 対象地域 県下全域
発表文献等	平成16～17年度 フラワーセンター21あおもり試験成績概要集

【根拠となった主要な試験結果】

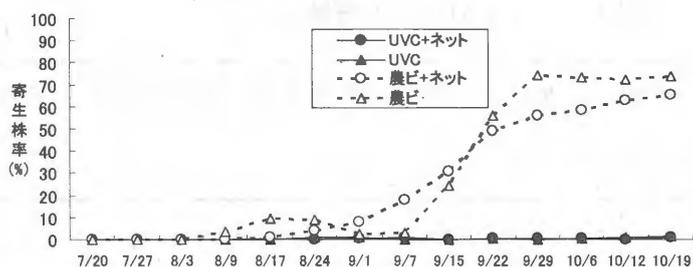


図1 ワタアブラムシの寄生株率 (平成17年 青森農林総研フラワーセ)

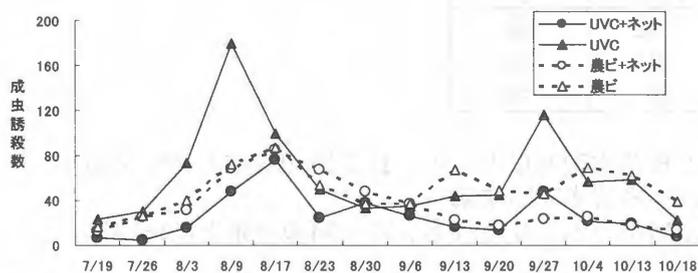


図2 アザミウマ類成虫のトラップ誘殺消長 (平成17年 青森農林総研フラワーセ)  
(注) UVC : 紫外線除去フィルム

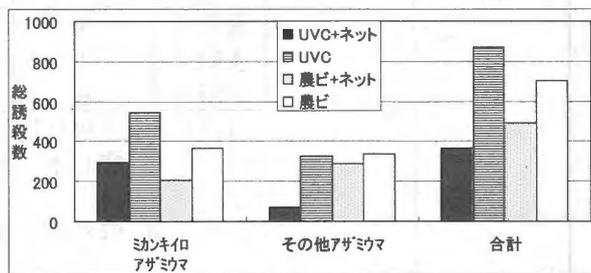


図3 アザミウマ類成虫のトラップ総誘殺数 (平成17年 青森農林総研フラワーセ)  
(注) 調査期間中の累積値

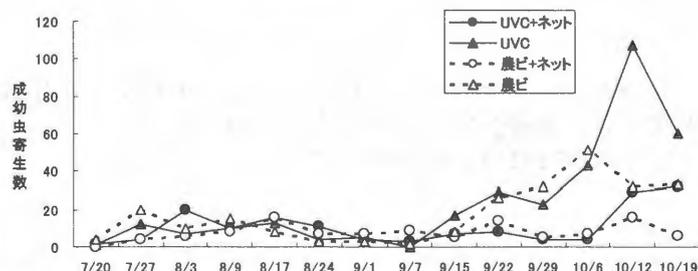


図4 アザミウマ類成幼虫の茎葉への寄生数の推移 (平成17年 青森農林総研フラワーセ)

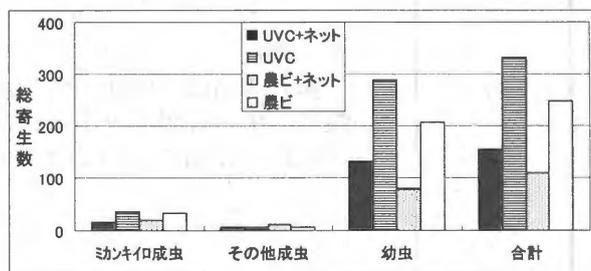


図5 アザミウマ類成幼虫の総寄生数 (平成17年 青森農林総研フラワーセ)  
(注) 調査期間中の累積値

表1 開花時のきくの生育状況 (平成17年 青森農林総研フラワーセ)

試験区	草丈 (cm)	葉数 (枚)	茎径 (mm)
UVC+ネット	118.1	62.5	7.3
UVC	112.1	63.2	7.8
農ビ+ネット	109.7	57.8	6.5
農ビ	104.9	57.9	7.0

(注) 調査月日：平成17年10月18日 (開花盛期) 各区10株調査

表2 きく花色への影響 (平成16年 青森農林総研フラワーセ)

品種名	花色	彩度 (平均値)		調査月日
		UVC	PO	
		神馬	白	
濃黄秀芳の力	黄	50.1	53.0	10月19日
花秀芳	赤	43.9	42.1	10月25日

(注) 1 PO : 対照区としてPOフィルム展張  
2 各品種10株調査  
3 満開時に色彩色差計を用いて花色を測定し、彩度を計算した。

耕種概要

- 1 供試品種：神馬
- 2 定植：7月12日
- 3 その他：無防除

(参考)

- 1 紫外線除去フィルム：MKVプラテック株式会社製 カットエースクリーンキリナイン 波長390nm以下を除去 厚さ0.13mm 幅7.4m 1,150円/m
- 2 防虫ネット：株式会社クラレ製 クレモナPV寒冷紗 (1.04mm目合い) 2.1m×100m 26,000円